評価表示の手引き

1. 目的

本手引きは、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターの感染性廃棄物容器評価事業によって、適合の評価を得た容器の表示に関わる事項を定めたものです。

2. 表示

2.1 必須事項

感染性廃棄物容器評価事業により適合の評価を得た容器には、容器内に収納する感染性廃棄物の種類に応じた色(図 1)のバイオハザードマークを、医療関係機関等と処理事業者間で協議した上で必ず表示する。例えば、固形状の感染性廃棄物のみを収納する場合は、橙色のバイオハザードマークを表示する。



バイオハザードマーク見本

■赤：液状又は泥状の感染性廃棄物（鋭利物は不可）
■橙：固形状の感染性廃棄物（鋭利物は不可）
■黄：鋭利物、分別排出が困難なもの

図 1　感染性廃棄物の種類に応じたバイオハザードマークの色

2.2 推奨事項

評価を得た事業者等に対して義務付けるものではありませんが、①適合した容器であること、②適合した容器の種類、③積重ね個数、④評価試験の条件、⑤利用期間等の留意事項は、図 2 に示すように、できるだけ容器に表示してください。

表示方法等の具体的内容は、以下の問い合わせ先にご相談ください。



公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター（JW センター）が運営する感染性廃棄物容器評価事業により適合の評価を得た容器です。以下の事項に留意して利用してください。

- 固形物専用容器（鋭利物不可）です。
- 3 個を超えて積み重ねないでください。
- 10kg の廃棄物を収納した条件で、容器を落下、転倒した際の安全を確認しています。
- 納入後 1 年以内に利用してください。

図 2　容器への表示例

＊問い合わせ先

〒110-0005　東京都台東区上野三丁目 24 番 6 号　上野フロンティアタワー13 階
公益財団法人　日本産業廃棄物処理振興センター　調査部
TEL：03-5807-5911　　FAX：03-5807-5912　E-mail：chousa@jwnet.or.jp